

キャリア形成プログラム

(神経内科学教室)

取得を目指す専門医資格

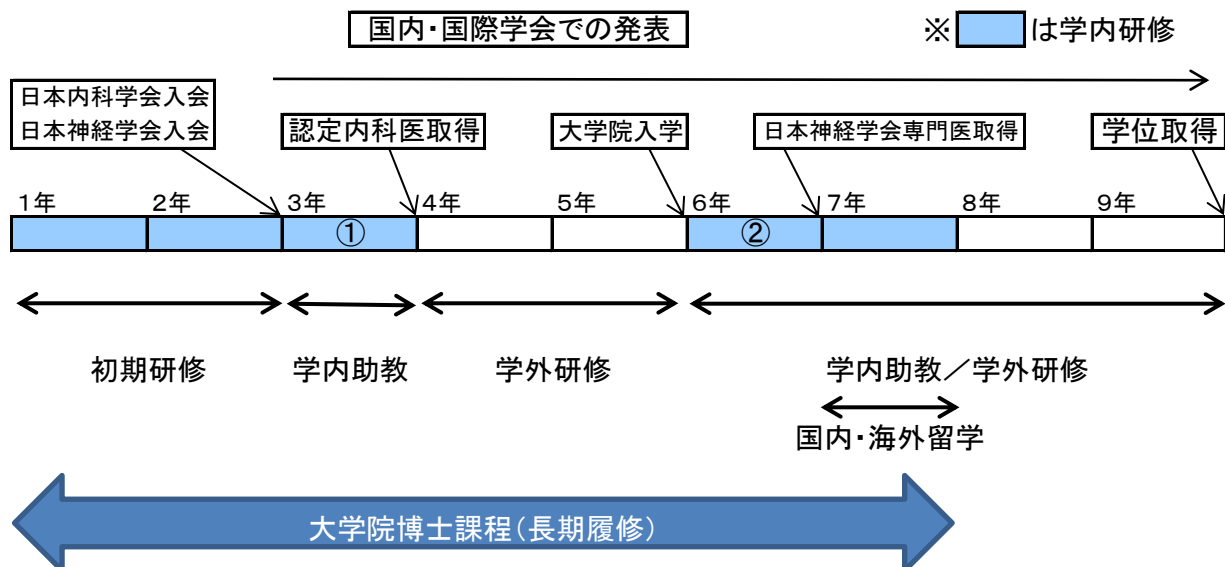
神経内科専門医

【コースの概要】

全体像

- 1) 神経内科専門医取得に必要な4年間の研究期間を提供する。初期研修の2年間終了後に、学内助教として1年間和歌山県立医科大学附属病院で研修する。神経内科は病棟指導医(神経内科専門医)のもとにグループ性を導入しているが、病棟指導医の下で直接入院患者の診療にあたる。臨床研修医がグループ内にいるときは、病棟指導医とともに屋根瓦方式で指導を行う。大学スタッフは、日本内科学会指導医の資格を有するため、認定内科医資格認定試験の受験資格(教育病院での研修3年)を取得することが可能である。また、この時期から積極的に国際学会にも演題を提出し、国際的視野を広げる。卒業4年目から2年間は学外研修として、教育関連施設や准教育施設で専門総合研修を開始し、実践的な専門性を身につける。准教育施設である新宮市立医療センターでは、脳血管障害を中心に和歌山ろうさい病院では、神経免疫疾患や神経感染症などを中心にいずれも神経救急を学ぶ。教育関連施設である和歌山県立医科大学附属病院紀北分院では上記の神経救急に加えて、神経筋疾患・神経変性疾患・脊椎疾患について研修を行う。一方で、この時期に学位取得のためのテーマを選択し、週1回本学での研修日に研究活動を開始する。最終の1年間は学内助教として和歌山県立医科大学附属病院で副病棟指導医として専門研修を行い、更に電気生理・神経放射線・神経病理などを系統的に学習する。この4年間のコース終了認定要件に専門医資格の取得を加えることで、4年間で質の高い専門医育成が可能である。
- 2) 神経内科専門医取得後、専門医研修で得た臨床能力をもとに学位論文を作成し、卒後9年目をめどに学位申請を目指す。

・9年間の研修予定(モデルコース)



神経内科専門医の受験資格を最短(卒後7年目)で取得するために学内(教育施設)では、①(3年目の学内助教1年)と②(6年目の学内助教1年)の計2年間研修を行う。学外研修Aでは、教育関連施設である和歌山県立医科大学附属病院紀北分院、准教育施設である和歌山ろうさい病院・新宮市立医療センター・国立病院機構和歌山病院で2年間の研修を行う。

以上の4年間(学内2年、学外2年)で日本神経学会神経内科専門医受験資格要件の臨床研修歴を満たす。

また、医学部卒業後すぐに大学院博士課程に入学し長期履修を行うことも可能である。海外留学先は、ニューヨーク市アルバート・アインシュタイン医科大学神経病理部門(米国)、アメリカ国立衛生研究所(NIH)など。

指導体制

・研修先病院

学会認定施設	研修病院名	診療科	指導者数 (人)	うち専門医 数(人)	受入可能最大 人数(人)
○	和歌山県立医科大学附属病院紀北分院	神経内科	2	2	2
○	和歌山ろうさい病院	神経内科	2	1	2
○	新宮市立医療センター	神経内科	2	1	2
○	国立病院機構和歌山病院	神経内科	1	1	1

・専門医について

学 会 名	日本神経学会
資 格 要 件	<ul style="list-style-type: none"> ① 日本国の医師免許を有するもの ② 初期研修を含む臨床研修期間が6年以上を有するもの ③ 学会正会員歴を3年以上有する ④ 認定内科医であること <p>臨床研修歴</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 教育施設で3年以上 2) 教育施設2年以上、かつ准教育施設を含めて合計3年以上 3) 教育施設2年以上、かつ准教育施設・教育関連施設を含めて合計4年以上 4) 教育施設2年未満の場合、准教育施設を含め合計4年以上(准教育施設のみでの4年間を含む)